



『チーム千丁』



【R8学校教育目標】 「ともに学び 豊かに育つ 夢をはぐくむ 『チーム千丁』」 ～輝く笑顔があふれる 私たちの学校～

「たった一つの命だから…」

～(修学旅行)被爆体験講話で学んだ生き方とは～

「たった一つの命だから…。この言葉の後に、どんな言葉が続くと思いますか?」。先日の6年生の修学旅行(5/21～5/22)での「被爆体験講話」で、田中安次郎さん(1942年生まれ、長崎原爆被災者協議会)が、投げかけられた言葉です。田中さんは、ご自身の辛く悲惨な戦争や原爆の体験をもとにしながらも、「平和とは何か」をテーマに、子どもたちに「これからをどう生きるか(生き抜いていくか)」について、わかりやすくご講話をされました。

とりわけ、幕末動乱の時代に私塾「松下村塾」を開き、後に明治維新で重要な働きをする多くの若者に思想的影響を与えた吉田松陰が唱えた言葉を交えたお話しがとても心に残りました。

**「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし。」**

戦争によって夢を持つことが叶わなかった方々、理想を持つことさえ、何かを実行することさえ叶わなかった方々…。たくさんの方々の無念や平和を祈念する心が、今の「平和」の礎となっています。

「たった一つの命だから、今日を大切に、友だちを大切に、夢に向かって努力の花を咲かせよう」と再確認する機会となりました。



被爆体験講話の様子



平和集会(平和公園)

「い草っ子スローガン」が決定しました

～輝く笑顔があふれる私たちの学校をつくるために～

5/28、本年度最初の「い草っ子集会(児童集会)」がありました。まず、委員会(「計画」「給食」「掲示」「環境美化」「生活安全」「体育」「図書」「放送」「保健」「なかよし」)の各委員長が、本年度のめあてや活動方針について説明しました。発表原稿を見ずに堂々と伝える立派な姿に、「さすが」と思いました。

次に、本年度の「いぐさっ子スローガン(児童会テーマ)」の発表がありました。代表委員会において、学校教育目標や学級の願いや思いを出し合い、しっかり議論した末、以下の通り決定しました。

「助け合いながら 一生けん命学び ルールを守るチーム千丁」

「子どもが育つ学校」の学校経営理念の下、子どもたちが主体的に「学校づくり」や「授業(学び)」に参画し、自他の可能性を信じ、協働しながらチャレンジするサイクルを通して、自らの夢や目標実現を目指す学校づくりに取り組みます。



各委員会からの発表



「い草っ子スローガン」の発表

「八代型小中一貫・連携教育」を推進

～第1回千丁小中合同研修会を開催しました～

「八代型小中一貫・連携教育」として、「先生をつなぐ 子どもをつなぐ 地域をつなぐ」取組や「目指す15歳像」を明らかにした系統的継続的な学習指導や生徒指導に取り組みます。学校HP参照

【日時】 令和8年6月3日(水)
15:00～16:20
【会場】 千丁小学校

【第1回小中合同研修会の内容】

〈全体会〉①あいさつ(千丁小 服部校長)
②今年度の基本方針、年間計画について
〈部会ごとの話し合い〉
○学力向上・研究部会 ○特別活動部会 ○生活・生徒指導部会
〈全体会〉①部会からの報告 ②まとめ(千丁中 三浦校長)

■全体会のようす



■部会のようす

【学力向上・研究部会(5年1組教室)】



【特別活動部会(5年3組教室)】



【生活・生徒指導部会(6年2組教室)】



【話し合いの主な内容】

○自己紹介○学校の実態○今年度取り組むこと
【今年度の取組】
○いぐさっ子の聞き方合い言葉の徹底。
○対話活動を取り入れた授業作りを行う。
○対話ピクトグラムを用いて見通しをもたせる。
○小学校で取り組んでいる対話タイムの資料を共有する。
○中学校の先生による乗り入れ授業を行う。

【話し合いの主な内容】

○自己紹介○学校の実態○今年度取り組むこと
【今年度の取組】
○毎学期の合同あいさつ運動の実施。
○ペットボトルのキャップ集め。
○ポスター作品の交流。
○地域清掃ボランティアを行う。
○小2町探検、中2職場体験での交流

【話し合いの主な内容】

○自己紹介○学校の実態○今年度取り組むこと
【決定事項】
○情報モラルに関する授業を行う。
○情報モラルについて保護者への啓発を行う。
○生活習慣を調べ、生活リズムを知り改善を図る。
(いきいきウィークの取組)

「引き渡し訓練」ご協力ありがとうございました

～あらゆる災害に備え、「命を守る行動」を～

6/5、集中豪雨による風水害を想定した「引き渡し訓練」を行いました。この訓練には、以下の5つのポイントがあります。

- <point1> 一斉メールにより、内容が正確に伝わったか
- <point2> 引き渡しカードにより、保護者に確実に引き渡せたか
- <point3> 交通整理等により、円滑かつ安全に実施できたか
- <point4> 想定範囲の時間内で終了することができたか
- <point5> すべての参加者が防災意識と対応力を高められたか

避難訓練の流れは以下のとおりです。

【事前指導】

大雨のため、おうちの方が迎えに来ることを伝えました。子供たちは、帰る準備をしました。

【児童玄関へ】

スムーズに下校できるよう自分の靴を取りに行きました。



【児童引き渡しの様子】

「引き渡しカード」で、確実な引き渡し。

【安全に下校】

自動車や保護者の方々の流れなど、事前に周知していたので、スムーズにできました。



★計画通り、開始後90分で子どもたち全員の引き渡しが安全・確実に行えました。

また、命を守るための行動を身につけることができました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

